

授業科目(ナンバリング)		武道 (CC303)		担当教員	江島 弘晃		
展開方法		実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択
授 業 の ね ら い							アクティブラーニングの類型
武道は武士道の伝統に由来し、日本で体系化された武技の修錬による心技一如の運動文化である。本授業では、武道の一種である剣道を対象とし、剣道の伝統的な行動様式および人格、道徳心、礼節などの心技体を高める武道特有の礼法や心構えを学習する。							④⑪
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	- 礼法を習得し、基礎動作から間合・有効打突などの対人技能に関する理論を習得し、木刀による基本技や稽古法を理解できる。 - 技の名称、試合の実施方法などを説明することができる。					実技試験 課題プリント	40% 30%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	間合や有効打突などの対人技能に関する理論を習得し、木刀による基本技術を理解することができる。					試合稽古	30%
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
(1) 実技試験：剣道の伝統的な行動様式や礼法を含めた基本動作および課題とした基本技の習得度を評価する（評価比率：40%）。 (2) 試合稽古：試合稽古の結果および内容をもとに、基本技および対人技の習得度を評価する（評価比率：30%）。 (3) 課題プリント：授業時に配布する課題プリントの記載内容を評価する（評価比率 30%）。 実技試験の結果および試合稽古の改善点については、試験中および試合後に口頭でフィードバックを行う。課題プリントの記載及び記載後のフィードバックは、ポートフォリオを通して行う。							
授 業 の 概 要							
学校体育における剣道の指導を念頭に置き、健康・安全面に留意しながら、実技を通して武道の伝統的な理念や行動様式を学習するとともに、剣道の基本技術の修得と醍醐味を体感し、指導方法を学習する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：使用しない 参考書：「剣道指導要領」（全日本剣道連盟） 指定図書：「剣道指導要領」（全日本剣道連盟）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
- 授業を実施するにあたり、剣道着、袴、防具、竹刀等を所持している学生は、授業時に持参すること、また各自で衛生的に管理を行うこと。これらを所持していない学生は大学から貸与するが、手ぬぐい、マスク等は各自で購入し管理を行うこと。初回の授業にて購入・管理方法および支払い方法についてオリエンテーションを行う予定であり、履修希望学生は必ず参加すること。 - 熱中症対策として、各自水分やタオルなどを用意し、体調管理につとめること。 - 学校体育における指導を念頭に置き、剣道を中心とした武道に関心をもって主体的に授業および予習・復習に取り組むことを期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	オリエンテーション(1)	オリエンテーション(剣道着および袴の着装方法の習得・竹刀の使用方法の習得)	剣道の特性・道着の着装方法について復習する。
2	オリエンテーション(2)	武道の特性・基本姿勢・礼式	剣道の基本姿勢・礼式について復習する。
3	基本動作(1)	素振り(左右面打ち・跳躍素振り)・切り返し	素振り・切り返しについて復習する。
4	基本動作(2)	素振り(左右面打ち・跳躍素振り)・切り返し	素振り・切り返しについて復習する。
5	基本動作(3)	足さばき・踏み込み・切り返し	足さばき・踏み込み・切り返しについて復習する。
6	基本技(1)	防具の装着(小手・面)・基本技(小手・面打ち)	防具の装着・基本技について復習する。課題プリントをまとめる。
7	基本技(2)	防具の装着(小手・面)・基本技(小手・面打ち)	防具の装着・基本技について復習する。課題プリントをまとめる。
8	基本技(3)	防具の装着・基本技(二段技)	防具の装着・基本技について復習する。
9	対人技能(1)	基本技と応じ技(抜き技・出ばな技・返し技)	鍔ぜり合い・引き技について復習する。
10	対人技能(2)	鍔ぜり合い・引き技	打ち込み稽古について復習する。課題プリントをまとめる。
11	対人技能(3)	実技試験(基本打ち)・互角稽古	打ち込み稽古・互角稽古について復習する。
12	試合(1)	審判法・試合運営法	審判法について復習する。
13	試合(2)	試合稽古(個人戦)・互角稽古	審判法・試合稽古について復習する。
14	試合(3)	試合稽古(団体戦)・互角稽古	審判法・試合稽古について復習する。
15	総括	試合稽古(団体戦)	審判法・試合稽古について復習する。